

令和4年度第3回玉名市都市計画審議会 議事録

(1) 審議会概要

日 時	令和5年3月20日(月) 午前10時00分～午前11時20分		
場 所	玉名市役所 4階 第2委員会室		
出席者	審議会委員	熊本県立大学教授	柴田 祐
		九州看護福祉大学准教授	中野 聡太
		熊本県建築士会あらたま支部支部長	伊東 和也
		玉名商工会議所 副会頭	安原 光則
		玉名市議会議員	浜田繁次郎
		玉名市議会議員	田浦 敏晴
		玉名市議会議員	北本 将幸
		玉名市議会議員	田畑 久吉
		玉名警察署交通課長	星子 博秋
		熊本県宅地建物取引業協会玉名支部支部長	安原 勇
		市の住民	高垣 裕子
	事務局等	建設部長	田代 史典
		建設部首席審議員	金棒 利彦
		建設部 都市整備課課長	中尾 賢治
		建設部 都市整備課課長補佐兼都市整備係長	中川 英昭
		建設部 都市整備課課長補佐兼まちづくり推進係長	森田 文子
		建設部 都市整備課都市整備係参事	植田 暁人
		建設部 都市整備課都市整備係技術主任	羽山 徳晃
		建設部 都市整備課まちづくり推進係主任	木原 真吾
		建設部 都市整備課まちづくり推進係技術主任	岸本 大佑
		建設部 都市整備課まちづくり推進係主事	大淵 昶亮
		日本工営都市空間(株)	
	傍聴	総務部 秘書課課長補佐	外村 靖国
		総務部 財政課課長補佐	西山 誠一
		企画経営部 地域振興課地域振興係主任	徳丸 剛史
		産業経済部 農地整備課課長補佐	岡本 暁
		企業局 上下水道工務課水道工務係係長	池田 篤志
		建設部 土木課課長補佐兼管理係長	坂田 拓哉
		建設部 営繕課課長補佐	中山 浩文
	随 行		
	欠席者	玉名市農業委員会会長	下川 安
		玉名市議会議員	松本 憲二
		熊本県県北広域本部玉名地域振興局長	無田 英昭
市の住民(玉名市区長会協議会会長)		高尾 弘道	

会次第	1 開 会
	2 会長挨拶
	3 議 題 【議題1号】「玉名市都市計画マスタープラン」改定(案)について【諮問】 【報 告】(1)玉名市都市計画道路の変更について(経過報告) (2)その他
	5 閉 会

結 果	議題	結果
	【議題1号】「玉名市都市計画マスタープラン」改定(案)について【諮問】	修正意見を付して答申

## 2. 主な意見及び質疑応答

### 【議第1号】「玉名市都市計画マスタープラン」改定（案）について（諮問）

質 問・意 見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本編 P23 「…都市計画区域において…」という表現については、「…都市計画区域内において…」といった表現の方が良いのではないか。</li> <li>・ 他計画の表現との整合を見ながらご調整頂きたい。</li> </ul>	<p>➤ 事務局) 表現については、精査して対応する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本編 P48 主要課題の整理について、ウォーカブルなまちづくりが1つ目の課題にある。駅から大学まで歩いているが、周りで歩いている方が少なく、気になったところ。歩いて頂くためには、心理的側面、環境的側面など多様な側面から分析して対応していかないといけないと思う。</li> <li>・ 是非、九州看護福祉大学にもお声掛けをお願いしたい。</li> <li>・ まちなかの賑わい再生を中心に県立大学は協力している。歩くということは福祉の観点も非常に重要であるので、是非地元九州看護福祉大学にも協力を仰ぐことが望ましいと考える。</li> </ul>	<p>➤ 事務局) ウォーカブルなまちづくりとして、車だけでなく、公共交通や自転車、徒歩へシフトしていくまちづくりが重要と考えている。庁内では既存資料をもとに分析を進めるが、県立大学のスタートアップ事業を活用しながら県立大の学生とも連携して調査を行ったり、民間事業者が独自に実施している調査等を活用しながら進めたいと考えている。</p> <p>➤ 事務局) 是非九州看護福祉大学にもご協力をお願いしたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本編 P50 基本方針1について、イメージ図が分かりにくく、アルファベット表記が多いのでイメージしにくい。なるべく玉名市でのウォーカブルということが市民にとっても分かりやすいような表現にして頂きたい。</li> <li>・ 現在の図はウォーカブルの制度を説明したものであり、特に補助関係を中心とした内容となっているので、差し替えをお願いしたい。</li> </ul>	<p>➤ 事務局) 図はウォーカブルのイメージとして国土交通省が出している資料を活用している。ここでは、考え方を示す意図で掲載している。図や表現については、市民がイメージしやすい、玉名市にあった図もしくは写真に差し替える方向で検討したい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本編 P57 「有明海沿岸連絡道路」については、「有明海沿岸連絡路」が適切ではないか。</li> </ul>	<p>➤ 事務局) 最新の名称を確認して対応する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本編 P73 「専修大学玉名高等学校」は、R5年度より「専修大学熊本玉名高等学校」となると聞いているので修正が必要ではないか。</li> </ul>	<p>➤ 事務局) 確認して、「当時、～」と表現するか等含めて検討する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市づくりの主要課題1に対して、本編 P115 「第6章 計画の実現に向けて」において、「プロジェクト会議」が設立されるということが記載されているが、今後、具体的にどのように検討される予定か。</li> </ul>	<p>➤ 事務局) R5.4月に庁内20数課の横断的な組織としてプロジェクトチームを設置予定である。まずは、総合計画や立地適正化計画でアンケートを行っており、中心市街地についての市民のご意見を抽出して分析したいと考えている。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスタープランの理念を庁内で浸透させて動かしていく必要があり、本編 P115 「(4) 庁内推進体制の構築と人材育成」に該当すると考える。庁内での進め方で、例えば週1回開催するなど、具体的な進め方を考えていれば教えて頂きたい。</li> <li>・市民との連携も重要だが、庁内連携も同時に重要である。都計審も諮問するだけでなく、定期的にご報告頂けると、その都度、委員の皆様からご意見をいただけるので良いと考える。</li> </ul>	<p>➤事務局) まずは既存資料の分析から進めたいと考えており、会議開催は年6回程度と想定している。また、R6年度からは、民間事業者等と連携し、「まちなか未来デザイン会議」を設置して両輪で未来ビジョンを固めたいと考えている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回都計審において、都市計画道路の廃止について、廃止時期との関係から掲載する・しないという話があったが、どのように整理することになったか。</li> </ul>	<p>➤事務局) R5. 1.27 時点で廃止が完了しているため、本都市マスにおいては、「廃止」として再整理した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要版はどのように活用される予定か。全世帯に配布する予定か。</li> </ul>	<p>➤事務局) 全世帯配布の予定である。</p> <p>※会議後、下記のとおり訂正した。</p> <p>【訂正】 「玉名市都市計画マスタープラン」の概要版は、市ホームページには掲載するが、全世帯には配布しない。</p>

### 3. その他

- ・柴田会長) 修正事項については、会長一任とさせて頂く方向でよろしいか。
- ⇒各委員) 異議なし

以上

本書のとおり相違ありませんので、玉名市都市計画審議会運営要領第7条の規定によりここに署名します。

令和5年 9月 8日

玉名市都市計画審議会会長

柴田 裕 

---

本書のとおり相違ありませんので、玉名市都市計画審議会運営要領第7条の規定によりここに署名します。

令和5年 9月6日

議事録署名者

玉名市都市計画審議会委員

守原光則



本書のとおり相違ありませんので、玉名市都市計画審議会運営要領第7条の規定によりここに署名します。

令和5年 9月 5日

議事録署名者

玉名市都市計画審議会委員 高垣裕子 

---